

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

申5号 10月30日に発生した町田駅スマートホームドアが開扉しない事象に関する団体交渉開催

横浜地本は3月25日、「申5号10月30日に発生した町田駅スマートホームドアが開扉しない事象に関する」団体交渉に臨みました。

↓ 申し入れ内容と回答

1、10月30日、町田駅のホームドアが初電から開扉しない原因を明らかにすること。

《回答》連携開始前にホームドア連携切替地上子が使用開始の状態となったためである。

(組合) 職場からは蓋を閉め忘れたと聞いているが、それで良いか。

(会社) 当日、地上子を設置した際に取り付けカバーを設置しなかったことである。

(組合) このカバーの確認は行っていたのか。

(会社) 事前に関係箇所と打ち合わせは行っていたが、その際に連携地上子に対してもカバーは付けなくても良いと担当者の認識があり、関係箇所との調整・確認に齟齬が生じてしまった。

(組合) その対策はどうなったのか。

(会社) 確認の方法がメールや言葉等自分で発したもので確認してしまった。お互いに認識がずれてしまった。それ以降は図面に具体的に示し、お互い明確に解るように確認の仕方に改めた。

(組合) 使用開始前の地上子の取り扱い・現状・所定はどういうものなのか。カバーをするのが所定なのか、物によっては使用開始前でも付けなくても良い物があるのか。

(会社) 地上子の種類が3種類あり、タスク地上子というのは要らないと具体的な打ち合わせを行った。その際に担当がその他の地上子も全て要らないと認識していた。忘れたというより付けなくて良いという認識でいたので、最初からカバーが無い物もある。

(組合) 使用していない物については全てカバーを付ける。使用開始の時に開けるほうがより安全なのではないか。

(会社) 付ける・付けないという間違いが一番大きいと事象だと捉えている。必要な物は付ける。必要でない物は付けない。明確にすべき判断に立って図面に記載して防止する。

(組合) 使用開始で無い物については、全て一律カバーをかけて使用開始の時に外すというほうがより安全なのではないか。

(会社) 一つの考えであると思うが、今の意見を参考にしながら現状は図面をもってお互い確認する。全てを外す・全てを取り付けるといふのを一つの考え方として理解するが、必要ない物は付けないと考えているのでこれを明確にして進めていく。

2、原因について関係箇所に連絡しているのか明らかにすること。

《回答》必要な周知は行っている。

(組合) 長津田駅のホーム冊の時も交渉でも議論したが、関係箇所へ連絡するということが活かされていないのではないか。

(会社) 今回の事象ではカバーを設置しなかった部分がある。最初の方は車両にも不具合があったということで調査を依頼している。原因については鎌倉車両センター、乗務員については問題無かったので相模原運輸区には連絡は行っている。原因については関係箇所に連絡している。

3、問題点に対する対策を関係箇所に連絡しているのか明らかにすること。

《回答》必要な周知は行っている。

(組合) この回答だと、職場・指令には対策はしたということで良いか。

(会社) 各職場に知らせてある。

(組合) 対策を具体的に教えてもらいたい。

(会社) 図面を見ながらやれることを含めた対策を取っている。指令のほうにも情報は入れている。

(組合) 指令にも図面を使っていくということか。

(会社) 指令も変わりますと聞いて解らない所もあるので、必要な図面を送っている。

(組合) 横浜支社だけの問題でなく、JR東日本全体の問題として他支社にも波及し伝えていくことが必要だ。今後もタイプは違いますがホームドアの設置が計画されている。工事ミスだとかがないように、一つの付け忘れでこのようなことが起きるといふことを横浜支社から発信すべきである。

(会社) この事象を受けて本社の会議で内容の説明を行った。ホームドア設置されている支社・これから導入される支社に対して、原因と対策を共有するよう議論を行っている。

連絡の齟齬がないように、安全に対してのチェック機能を果たそう!!